

# プロジェクト報告書

団体名 市民共同学習プロジェクト子どもひろば

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

立川市学童保育所の子どものためのセーフティ教室開催事業

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

厳しい社会状況の中で働く保護者が増えており、小さな子ども達にしわ寄せが集中しています。学童保育の帰宅時間は夕方遅く特に冬などは暗くなるため、不審者からの被害に会いやすくなりリスクが高まります。又保護者が非常に忙しくゆとりがないため子どもがいじめ等の相談をするきっかけがつかめず1人で悩みを抱えてしまいがちです。保護者の不安感や子どもの孤立感を少しでも解消するために地域の教育力で改善することを目指しました。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

立川市内の学童保育所14か所を訪問して合計480人の子どもに対して、身の周りの危険について一緒に考え、不審者やいじめについて危機回避のロールプレイを体験するワークショップを開催しました。また参加記念として子ども達にオリジナルのカードを配布しました。このカードは10種類の動物のイラストと共に、楽しいメッセージを掲載して、いつでも誰でもいじめのことが気軽に話題にできる雰囲気づくりの一助になるように工夫しています。

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①確実に実現できるために、立川市と連携して実施しました。
- ②ロールプレイの設定は実際に起こった事件の例を取り入れて常に内容を更新し、子どもにとってリアルな実感が持てるように努めました。
- ③大人に相談するロールプレイでは子どもが実際の学童保育所の職員とロールプレイをする機会を作りました。
- ④ロールプレイではあえて見本を示さず、子ども自身が考えて自分の言葉を言うトレーニングにしました。
- ⑤学童25回実施が実現困難のため、他の地域でも広報して保育園で4回実施しました。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

子どもたちは元気たくましく毎日を過ごしていて、ロールプレイでは大人の私たちが思いつかないようなユニークな言葉がたくさん出てきて感心しました。中には恥ずかしがって出てこない子どももいましたが、友達が真剣にロールプレイをする様子を見て具体的なヒントを得る効果もありました。また、職員の皆さんも大変協力的で、多くの方から『日ごろ接している職員とは違う人がやることで、子どもたちは大変集中していたし、インパクトも大きいと思う』と評価をいただきました。こうして部外者が訪問することで、子どもたち自身がいろんな大人が心配してくれていることに気づいてくれれば幸いです。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり ・ 特になし

# 子どもの安全を守りましょう

教室のいじめや通学路の不審者から自分を守るトレーニング

先着 10 回まで無料で開催できます

学童保育

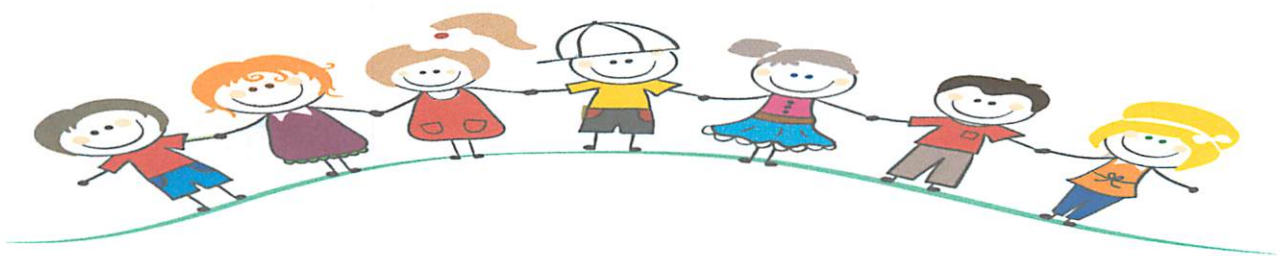
放課後教室

子どもたちの日常にありそうなロールプレイを楽しい雰囲気練習

①所要時間 45分～60分

②申込先 電話 042-569-8107

E-mail [kodomohiroba@yahoo.co.jp](mailto:kodomohiroba@yahoo.co.jp)



主催 NPO法人市民共同学習プロジェクト

住所 武蔵村山市神明2-38-18

この事業は2014真如苑「Shinjoプロジェクト」市民活動公募助成を受けています

